



5月の園だより 太陽の子保育園

2021年5月号

新しいお友達を迎えて園生活が始まり、もう1か月が過ぎました。登園時、保護者の方となかなか離れずに泣いていた新入園児さんも、たくさんの先生やお友達にやっとなれ、明るい笑顔を見せてくれるようになりました。進級児さんも、ひとつ大きくなった喜びを感じ、落ち着いた日々を過ごしています。

この時期は子どもたちにとって、緊張感がとけ疲れやすい時期でもあります。ご家庭でも、睡眠・朝ごはんをしっかりとって、生活リズムを崩さず、元気に過ごしていけるようご配慮いただければと思います。

春でも車内で熱中症に…車の中に子ども残さないで!!

ぽかぽか陽気が心地よくなるこれからの季節は、止めた車の中に閉じ込められた子供が熱中症になる事故が起きやすい時期でもあります。晴れの日でも外気温はそれほど上昇しないため、子どもを車内に残し買い物などに出掛けてしまうケースが多いためです。JAF(日本自動車連盟)などは「強い春の日差しに油断は禁物」と、注意を呼び掛けています。

JAFでは4月に、窓を閉め切った車内での温度変化をテストし、その結果、最高外気温は23.3度でしたが、車内室温は最高48.7度、ダッシュボードは同70.8度にまで達したそうです。

4枚の窓すべてを4センチ開けた車では、全閉した車より低いものの、車内温度は最高

38.9度まで上昇。「直射日光が当たるダッシュボードが熱源となるため、車内温度の上昇に、車種や外装色、外気温はあまり影響ない」としています。

JAF広報部は「外は涼しいから大丈夫という思い込みが、幼い子どもの熱中症事故を引き起こす原因」と指摘し、「春でも、車内気温は真夏と同じくらい上昇することを知ってほしい」と訴えています。

外は23℃でも…



車内は49℃!!



5月の予定

- 10~14 身体測定
- 13(木) 音楽指導(幼児)
- 18(火) 保健指導(ぱんだ)
- 20(木) 避難訓練
- 21(金) 調理保育(くま)
- 24(月) 体育指導(幼児)
- 24(月) 職員園内研修
- 27(木) 歯科検診
- 28(金) お誕生日会
- 31~6/4 職場体験(羽2)

6月の予定

- 2(水) 歯磨き指導(らいおん)
- 7(月) 太鼓指導(らいおん)
- 8(火) 避難訓練
- 10(木) 音楽指導(幼児)
- 14~18 身体測定
- 15(火) 体育指導(幼児)
- 16(水) 虫歯予防集会(幼児)
- 18(金) お誕生日会
- 22(火) 保健指導(らいおん)
- 25(金) 職員会議
- 29(火) 視力検査(らいおん)
- 30(水) 視力検査(くま)

保育園を支えていただいているの方々

保育園は職員の他に、多くの方々に支えられて運営しています。



嘱託医

小児科 道佛 雅克先生(わかさ医院院長)
 歯科 井上 雄温先生(井上歯科医院院長)
 健診の他、日々の様々な病気・ケガについても、看護師を通して相談ののっていただいています。

体育指導

長屋 あゆみ先生(日本経営教育研究所)
 子どもたちから大人気の長屋先生です。毎月の幼児体育指導の他、職員を対象とした体育指導研修も行っていただいています。

音楽指導

大月 友則先生
 音楽指導の先生で、合奏やマーチングなどの指導で全国を飛び回っています。園では幼児クラスでの歌や合奏指導に合わせ、職員研修もお願いしています。

心理相談

澤井 晴乃先生(NPO法人かけはし)
 黒葛真理子先生(チャイルドフッドラボ)
 心理相談員の観点から、日々の保育へのアドバイスをいただいています。また、職員を対象とした発達心理に関わる研修も行っていただいています。

カメラマン

宮本 圭さん(OUTDOOR STUDIO)
 こどもの自然な笑顔を撮影するのがとても上手なプロカメラマンです。事務所は相模原にあり、いつも行事のたびに車でお願いいただいています。

子どものつながりが互いを育て合う

「子どもの心の発達がわかる本」
 講談社 監修 小西行郎 より

同年代の子ども同士の遊び、つき合い方も、年齢とともに変化します。子ども同士の社会は、大人が与えることのできない、貴重な育ちの場なのです。

遊びだって成長する

遊びは子どもの仕事であり、発達に欠かせないプロセスでもあります。遊び方をよく見ると、年齢や子どもの発達に応じて、遊びの内容も変化していきます。

4歳ごろになると…

協調遊び

徐々に周囲に関心が向くようになります。近くの子どもの遊びや道具を見ることから始まり、やがていっしょに遊ぶようになります。役割分担をしたり、道具を貸し合ったり協力して遊びます。



集団保育は貴重な場

最近では、子ども同士で遊ぶ場や時間が少ないなど、地域で同年代の子どもが集まる機会が得にくくなりました。こうした現代社会では、集団保育は、現在では同年代の子どもたちのふれ合いを担う大切な場となりつつあります。集団保育というと、働く親を支える、子どものしつけや早期教育などの側面が強調されがちですが、子ども同士の社会をはぐくむという、大切な役割も担っているのです。

その日にあったことを報告し合うなどのコミュニケーションを通して、親は子どもの世界の広がりを感じることが出来るはず



5~6歳では…

集団遊び

少人数のグループで、ルールにのっとった遊びを楽しむようになります。

- リーダーができる グループの中で、リーダーシップをとる子どもが出てきます。子どもなりに、グループ内の力関係を認識しています。
- ルールを決める 遊び方のルールを決めるほか、年下の子に特別ルールを当てはめるなど、グループ内で自律的に遊び方を決められるようになります。
- 横・上下の関係を身につける リーダー以外にも、グループ内の役割をなんとなく認識しています。同年代の横のつながりのほか、年下の子に手をさし伸べるなど、上下の関係も意識し始めます。



縦割り保育活動について

昨年度取りやめていた「縦割り保育活動」を部分的に再開します。詳細につきましては、各クラスでのお知らせボードにてお伝えします。
 【縦割り保育活動】週1日程度、幼児3クラスを、ぱんだ・くま・らいおんの人数がほぼ均等な3グループに分け、グループでの活動を行います。

